

整理番号 2022M-014
補助事業名 2022年度 ICT社会における安全・安心確保に関する補助事業
補助事業者名 一般社団法人日本教育情報化振興会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

教育現場のICT安全安心対策研究実施のため2つのWGを設け、「情報モラル指導充実のためのWG」「情報活用能力（コミュニケーション力）育成WG」を二本柱として活動する。

① 情報モラル指導充実のためのWG

- ・ 専門家、有識者10名からなる委員会の設置
- ・ 教育委員会等の要望に添った情報モラルセミナーの開催、研修テキストの作成実施
- ・ 「GIGAスクール構想」の1人1台PC環境と新学習指導要領に合わせた新規教材の作成

② 情報活用能力（コミュニケーション力）育成WG

- ・ 専門家、有識者15名からなる委員会の設置
- ・ コミュニケーション力育成のための研修は、次の形式で開催する。
 - － 研修は大規模なイベント（関西教育ICT展・教育の情報化推進フォーラム）とタイアップして、近隣の教育委員会等から教員に招集をかけ参加を募集
- ・ 「GIGAスクール構想」の1人1台PC環境と新学習指導要領に合わせた新規教材の作成

(2) 実施内容

教育現場のICT安全安心対策検討委員会にそれぞれのワーキンググループ長を委員とした委員会を置き、そこに下記の2つのワーキンググループを設置し、それぞれの研究方法によりICTの安全安心活用について研究を実施している。

① 「ネット社会の歩き方」情報モラルセミナー事業

(<https://www.japet.or.jp/activities/info-ut-ability-dev/info-moral-seminar/>)

地域の指導的な立場の教員に対し情報モラルが指導できるよう指導者育成を実施。主に情報モラルやセキュリティに関するセミナーを実施できる指導者を養成している。その指導教材としてセミナーで使用した教材・情報を提供している。さらに、家庭等でも「情報モラル」が親子のコミュニケーションの題材となるような新たな事例への対応を盛り込んだコンテンツ情報等の提供を行っている。

ネット社会の歩き方教材

(<http://www2.japet.or.jp/net-walk/>)



以下は、情報モラルセミナー風景。



埼玉県八潮市教育委員会のセミナー風景（令和4年5月16日）



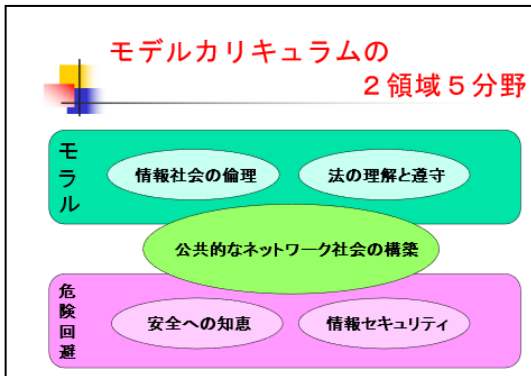
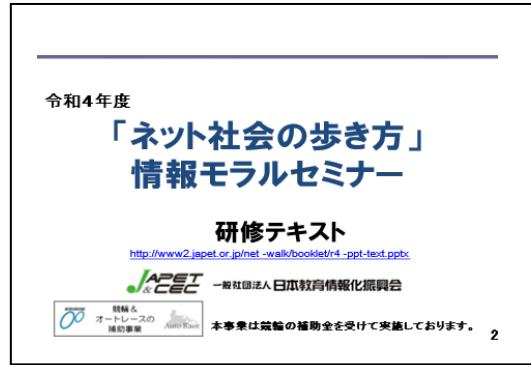
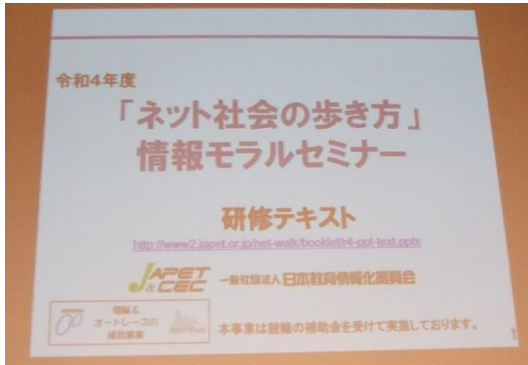
高知県越知町教育委員会でのセミナー風景（令和4年6月17日）



青森県藤崎町教育委員会でのセミナー風景（令和4年7月29日）



鹿児島県伊佐市教育委員会でのセミナー風景（令和4年8月2日）



教育の情報化推進フォーラムの風景（令和5年3月3日）

②情報活用能力（コミュニケーション力）育成のための事業

(<https://www.japet.or.jp/info-ut-ability/>)


2020年度から全面実施された小学校学習指導要領では、情報活用能力が言語能力に並ぶ「学習の基盤となる資質・能力」と位置付けられている。また、中央教育審議会（2016）幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）において、「情報活用能力とは、世の中の様々な事象を情報とその結び付きとして捉えて把握し、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用して、問題を発見・解決したり自分の考えを形成したりしていくために必要な資質・能力のこと」としている。そして、情報活用能力の重要性が最初に指摘されてから、すでに30年以上経過しているが、教員の認知度は決して高いとはいえない状況である。

そのために、これからの「情報活用能力（コミュニケーション力）育成」を、学習活動の中にどのように取り込んでいくか、その取組を支援する学校現場の先生向けの「授業づくりガイドブック」を制作し、それを活用したセミナーを企画し、全国で実施した。今年度は、全国6地域（福岡、鳥取、大阪、春日井、東京、札幌）で模擬授業形式およびパネルディスカッション形式のセミナーを開催した。





第7回関西教育ICT展
情報活用能力育成セミナー
～模擬授業実践から～

 本事業は
競輪の補助金を受けて
実施しております。

JKA Social Action
競輪とオートレースの協働事業

一般社団法人 日本教育情報化振興会 

関西教育ICT展内セミナー（インテックス大阪）（令和4年8月5日）



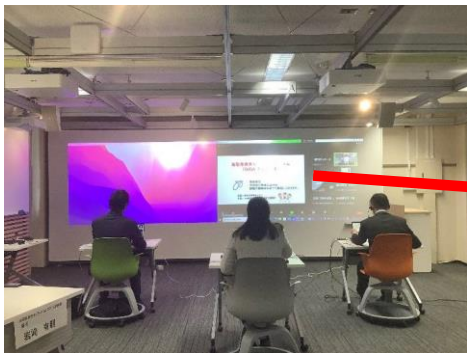
関西教育ICT展内セミナー（インテックス大阪）（令和4年8月6日）



JAET愛知・春日井大会内ワークショップ（令和4年10月29日）



情報活用能力育成セミナーin北海道（令和4年12月17日）



**鳥取県教育センターフォーラム
(GIGA フェア・冬)**

NEBARIIN 〇〇 本事業は
公益財団法人JKAの
競輪の補助金を受けて実施しております。

主催：鳥取県教育センター
共催：一般社団法人日本教育情報化振興会 

鳥取県教育センターとのタイアップセミナー（令和4年12月27日）



教育の情報化推進フォーラム内セミナー（令和5年3月3, 4日）

2 予想される事業実施効果

昨今のスマートフォンやのゲーム機、音楽プレイヤー等の普及、また国の「GIGAスクール構想」による児童生徒1人1台のPCの普及により、いつでもどこでもインターネットを利用できる環境が、学校現場にも急速に拡大した。この急激な変化により、児童・生徒がSNSや無料ゲームなどのコミュニティサイトで犯罪などに巻き込まれる事例も発生している。また、ネット上で子供達同士が誹謗中傷の発信を行うなど、コミュニケーション不足からのいじめが行われ、実際に痛ましい事件も発生している。

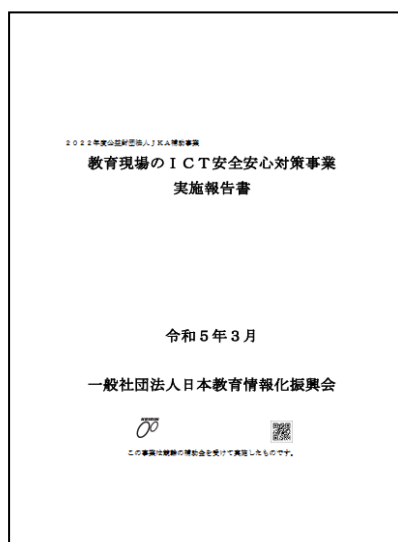
日本教育情報化振興会では、児童・生徒の安全安心を願い「教育現場のICT安全・安心対策事業」を展開している、この活動は広く公開されているため、教育界だけではなく、保護者への啓発としても有効であり、地域、家庭での安心安全への意識を高めることができる。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

①教育現場のICT安全安心対策事業実施報告書

(<https://www.japet.or.jp/activities/info-ut-ability-dev/>)



表紙

目次	
第1章 情報セキュリティ対策実施のための事業	1
1. 事業の目的	2
2. 実施するICTソリューション/対策内容	3
3. 実施の概要	4
4. 教育の情報化推進フォーラム	21
5. 中央教育審議会ITセキュリティ分科会の設置	24
6. その他の	29
第2章 ICTソリューション分野での取組の成果	40
1. 取組の概要	41
2. 情報セキュリティ/対策内容	42
3. 取組の成果/取組内容/ポイント	43
4. その他	49
5. 実施評価	52
6. その他の	55

目次

SDGs、地球環境保護の観点から、冊子での配布をやめ、WebサイトでのPDFデータ提供に変更した。全国の自治体に対しての案内として、当会の会報送付時（令和4年春号）に「教育現場のICT安全安心対策事業実施報告書」PDFのQRコードを同封して広報活動を実施した。

② ネット社会の歩き方情報モラル教材

2022年度新規開発した教材概要は次の通り

(<http://www2.japet.or.jp/net-walk/>)

●新規学習ユニット10テーマ

アニメーションで様々な事象を確認しながら、情報モラルについて学習できるようになっている。

① 公式サイトで購入したはずなのに

<校種>

小中高・保護者

<教科>

ホームルーム・総合・技術家庭・情報

<学習内容>

偽ブランドサイトを見分ける方法を
消費者庁等のページから調べて、実践的に理解する。



② あやしい脅迫状

<校種>

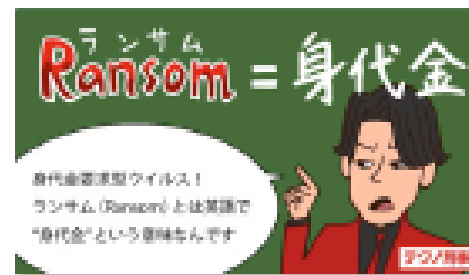
中高+保護者

<教科>

ホームルーム・総合・技術家庭・情報

<学習内容>

コンピュータ上のファイルを勝手に暗号化して身代金を要求するランサムウェア。
サイバー犯罪に巻き込まれる危険への予防と対応策を知る。



③ 本当に中学生？会って大丈夫??

<校種>

小中高・保護者

<教科>

学級活動・総合・生活

<学習内容>

SNS の中には匿名で会話ができるトークルーム機能がある。気軽に参加できる一方、リスクもある。どのような特性があるか、またどのようなトラブルが起こりやすいか考えることで、より良い使い方について考えるきっかけにする。



④ 知らぬ間に情報操作？

<校種>

中高

<教科>

学級活動・道徳・総合

<学習内容>

インターネットには、利用者の検索履歴や閲覧などから、利用者の望む情報を優先的に表示したり、関連した情報を提供したりする機能がある。異なる情報が入らなくなり、特定の意見や思考に傾倒してしまい、他の意見や思考を受け入れなくなる危険性を学ぶ。



⑤ 「ちょっと貸して」はやめましょう

<校種>

小中

<教科>

学級活動・生活・道徳

<学習内容>

ログインした状態で他人に自分の端末を使わせることは、なりすましや匿名によるいたずらに使用されることがある。端末の貸し借りは危険が伴うことを理解する。



⑥ あなたの“正しさ”を押しつけないで！

<校種>

小中

<教科>

ホームルーム・総合・生活

<学習内容>

自分の中では正しいと考え、良かれと思った行動は、相手にとって必ずしも有用とは限らないことを知る。



⑦ タブレットを上手に使おう

<校種>

小

<教科>

学級活動・総合・生活

<学習内容>

学校や家庭でタブレットを使うときに
気を付けることを考える。



⑧ 情報モラルの指導ってどうやるの？

<校種>

小中高

<教科>

教職員研修

<学習内容>

ネット社会の歩き方の教材を活用した
授業モデルを知り、授業で実践ができるようにする。



⑨ 情報モラルって自分でも学べるの？

<校種>

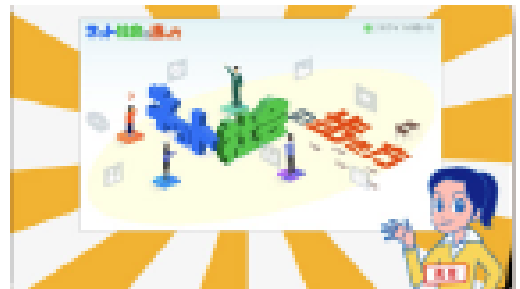
小中校・保護者

<教科>

家庭

<学習内容>

自主学习や家庭学習で情報モラルを
自ら学ぶための「ネット社会の歩き方」の活用方法を学ぶ。



⑩ 「知る権利」より「忘れられる権利」？

<校種>

小中高

<教科>

学級活動・社会・公民

<学習内容>

情報社会において「知る権利」と「忘れられる権利」がどちらが優先されるべきか考える。



●情報とネット社会のしくみ（小学校高学年以上対象）

小学校高学年以上を対象とした図鑑型教材。GIGA スクール構想に対応し、「情報」の科学的理解を深め、ネット社会への対応力を育てることを目的としています。令和5年版では、情報を正しく読み解くポイントや、技術の進歩によるインターネットの注意点を新たに盛り込んでいます。



●情報とネット社会のしくみ（小学校低中学年対象）

小学校低中学年を対象とした、情報とネット社会について図鑑形式で学べる教材。「情報の科学的理解」に焦点を当て、情報機器の仕組みやその特性に基づく安全な使い方を紹介しています。



● 「ネット社会の歩き方」ナビゲーター（サイト内教材検索機能）

ネット社会の歩き方のトップページから収録された教材のキーワード検索が可能になりました。教科や校種の絞り込みや、予め用意したテーマからの検索も可能です。さらに、検索結果に表示された教材の関連キーワードから、再検索も可能です。



③ 情報活用能力育成のための指導資料の作成

● 情報活用能力を育む授業づくりガイドブック

2020年度に、学習プロセスに情報活用能力を位置づけた指導指標である「情報活用能力ベーシック（小学校）」を開発し、2021年度は「情報活用能力ベーシック（小学校）」を活用した「情報活用能力を育む授業づくりガイドブック（小学校編）」を制作した。

2022年度は「情報活用能力を育む授業づくりガイドブック（中学校編）」を制作した。

以下の3つの柱となる。

- (1) 主要5教科の情報活用能力ベーシックを開発
- (2) 学校研究における活用／教育委員会における活用
- (3) 情報活用能力を育む授業事例として、5教科の情報活用能力ベーシックを活用した実践事例



●情報活用能力育成セミナーin福岡（集客用リーフレットの作成）

福岡県内の公立・私立小学校／中学校1,098校に対し、1校3部ずつの集客用リーフレットを配布し、集客に努めました。

令和4年度情報教育対応教員研修全国セミナー

子どもたちの情報活用能力を育てよう！
情報活用能力育成セミナー 参加費無料！

情報活用能力を育む授業とは？
その視点や具体的な方法を
講義と模擬授業で体験できます
ぜひ、ご参加ください

課題の設定 (発見) | 整理・分析 (整理・比較・整理) | 振り返り・改善 (振り返り・改善)

情報の収集 (収集) | まとめ・表現 (形成・発信・伝達・教養・創造)

2023
2.25
(SAT)
西日本

福岡県福岡市
リファレンス大博多ビル会議室
福岡市博多区博多駅前2丁目20-1
大博多ビル11階
定員：100名（先着順）

参加申込はこちら

主催 一般社団法人 日本教育情報化振興会 (JAPET&CEC)

後援 文部科学省、経済産業省、総務省

好評配布中

<https://www.japet.or.jp/edu-ed-seminar/2023-2-25-fukuoka>

JAPET & CEC 日本教育情報化振興会

情報活用能力育成セミナー in 福岡

2月25日(土)

13:00 開会挨拶

13:05 基調講演「GIGA時代の情報活用能力
～情報活用能力ベーシックをもとに～」
放送大学 教授 中川一史氏

13:50 休憩／会場移動

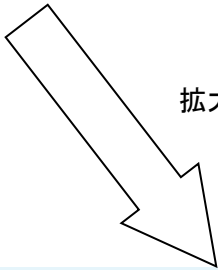
14:00 模擬授業
《テーマ1》情報活用能力を育む授業デザインを考える
～小学校5年生「総合的な学習の時間」の模擬授業から～
・コーディネーター 元金沢学院大学 講師 山口真希氏
・模擬授業者 浜松市立浅間小学校 教諭 菊地真氏
《テーマ2》情報活用能力を育む授業デザインを考える
～中学校社会科・公民的分野（3年）の模擬授業から～
・コーディネーター 放送大学 客員教授 佐藤幸江氏
・模擬授業者 北海道教育大学附属函館中学校 教諭 都司直孝氏

15:30 休憩／会場移動

15:40 総括パネルディスカッション
《テーマ》情報活用能力を授業に組み込むために現場は
何をどうすればいいの？ ～次年度に向けて今準備すべきこと～
・コーディネーター 鳥取県教育センター GIGA スクール推進課 係長 岩崎有朋氏
・パネリスト 放送大学 教授 中川一史氏
放送大学 客員教授 佐藤幸江氏
元金沢学院大学 講師 山口真希氏

16:40 閉会

JAPET & CEC 日本教育情報化振興会



拡大表示

JAPET & CEC 一般社団法人 日本教育情報化振興会
Japan Association for Promotion of Educational Technology

KEIRIN 00

本セミナーは、競輪の補助を受けて実施します。

(2)(1) 以外で当事業において作成したもの
特になし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般社団法人日本教育情報化振興会

(イッパンシャダンホウジンニホンキョウイクジョウホウカシンコウカイ)

住所： 〒105-0001

東京都港区虎ノ門2-10-1 虎ノ門ツインビルディング 1階

代表者： 会長 山西 潤一 (ヤマニシ ジュンイチ)

担当部署： 調査・研究開発部 (チョウサケンキュウカイハツブ)

担当者名： 部長 吉田 真和 (ヨシダ マサカズ)

電話番号： 03-5575-5365

F A X： 03-5575-5366

E-mail： myoshida@japet.or.jp

U R L： <https://www.japet.or.jp/>